

いますが、部門別委員会であるCICOPA（労働者生産協同組合委員会）でも労働者協同組合の立場から原則改定論議に加わるべく各加盟組織にたいして討論の組織と意見の集約を求めています。本年9月のCICOPA総会を経て、94年7月の同大会が予定され、ここで最終的な意見の集約が行われて、95年春のICAマンチェスター大会で原則の改定が決定されます。

研究所では、労働者協同組合連合会とも協力して、とりあえずCICOPA大会への「日本からの提案」をまとめたいと考えています。そのために、各種国際協同組合関係の諸文書・資料の翻訳、研究を進めながら、提案文書取りまとめのための「ワーキング・プロジェクト」を発足させます。座長には富沢賢二理事、事務局担当には菅野専務理事が当たる予定です。

⑤法制化問題プロジェクトの再開

労働者協同組合全国連合会のICA加盟を契機として、労働者協同組合と「新しい協同組合」の法制化要求の機運が高まっています。これまで、事業団・労働者協同組合連合会は主に税務・財政問題の視点から法制化問題研究会を行ってきましたが、現行法制の積極的活用も含めて、労働者協同組合や「新しい協同組合」の公共的役割を鮮明にしつつ、その社会的認知と確立に必要な法制度、税制度上の権利・義務関係について整理し、要求や運動方向を明確にしていく必要があります。

政策研究集会第3分科会の世話役メンバーを中心に、新たに法制化問題プロジェクトを発足させます。また、政策研究集会第3分科会の報告も含めて、これまでの議論を整理して法制化問題での「資料集」を発刊します。

⑥高齢者協同組合、福祉サービス協同組合づくり

労働者協同組合の高齢者協同組合づくりと連携して、地域での政策を検討します。

また、別掲記事のように、東京都の認可を受けて、10月から「ホームヘルパー養成研修講座」がスタートします。これを一つのひな型として、各地の事業団や会員による同様の取り組みを援助し

ていきます。

研究会・集会のお知らせ

【第16回「労働組合運動と協同」研究部会】

- 1993年11月4日（木） 18：30
- 明治大学神田駿河台校舎、研究棟4階会議室
- 報告：中川謙（ネッスル日本労働組合・書記長）
「労働争議から労働者協同組合運動への展開へ」

【青森県の協同を問う集会】

- 1993年10月31日（日） 青森市内を会場に
- 全体講演：富沢賢治（一橋大学教授、日本協同組合学会会長）
- 内容詳細はおってお伝えしますが、お問合せは次の所へ。青森県中高年雇用福祉事業団（担当：福士吉之助）TEL0177-73-6135

【考えてみよう長野での協同を、第3回集会】

- 1993年11月13日（土） 14：00
見学会「南牧村—在宅ケアの活きるまち」
鹿教湯温泉で交流、宿泊
- 11月14日（日） 9：30～16：00 小諸市内
全体会 基調報告：内山哲朗（工学院大学）
記念講演：二宮厚美（神戸外国語大学）
実践報告も行ない、午後は分科会
- 問合せ先：長野中高年雇用福祉事業団（小沢房生）
TEL0262-63-2338、長野県民生活協同組合（祖父江哲一、清水久美子）TEL0262-23-0530、または協同総研へ

【北海道・労働者協同組合を考えるシンポジウム】

- 1993年11月20日（土） 札幌市内
- 黒川俊雄氏を招き、著作「いまなぜ労働者協同組合なのか」をもとにしたシンポジウムを開催。
- 問合せ先：北海道建設企業組合連合会（担当：竹下満高）TEL011-786-1881、または協同総研へ
- 6月に開催された北海道協同集会の記録は「協同の発見」10月号として特集し、増頁で発行します。